

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和3年1月29日

事業所名 発達支援ルームそらまめ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	0	個別活動の際はパーティションで室内を区切り、集中して課題に取り組むための配慮をするよう工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	3	1	0	個別に対応できるだけのスタッフ数を確保し、活動内容やお子様の状況に応じてスタッフ数を変えるなどの対応をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	0	それぞれの特性に合わせてパーティションで区切ったり、必要に応じて個室を使用する、活動に応じて場所を変えるなどの工夫をしたりして構造化しています。お子様の特性に応じて、スケジュールの提示の工夫を行っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	2	0	毎朝の清掃・消毒を必ず行い、清潔な環境づくりと感染対策を実施しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	昨年度からはスタッフをご利用されているお子様全員の状況を把握し、共通して支援に当たれるように、担当を交代制にしたり、記録様式の変更をしました。また、職員の打ち合わせの時間に次月の予定等の確認の機会を設け、効率よく業務をすすめられるよう工夫しました。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	新型コロナウイルスの関係で1回になりましたが、今年度も保護者様のご意向をもとに、親子教室を実施し、保護者同士の交流の機会を設けました。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	2	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	研修に参加したスタッフは、他スタッフに対し全体会議で研修報告を行っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	0	個別支援計画の作成のためのアセスメントツールとして Vineland-II を取り入れています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0	KIDS(乳幼児発達スケール)、SP(感覚プロファイル)、Vineland II(社会行動適応尺度)等を随時行っています。また、他機関で行った検査結果を保護者様に随時提出していただき、療育に活かしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	0	保護者面談の中でニーズを拾って具体的な支援につなげられるようにしています。また、保育所等訪問を希望者全員に行い、保育所等との連携を強化しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	毎日の療育前のミーティングで、スタッフ間でプログラム内容について話し合っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	年間を通してプログラムを組むことで、内容に変化や発展を取り入れています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	毎日必ず事前ミーティングを行い、その日の役割を確認しています。また、その内容については全体記録に残しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	毎日欠かさず振り返りを行っています。全体活動・個別活動の内容、次回の留意点や身体拘束の有無・ヒヤリハットの有無も必ず記録しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	現状と支援計画を照らし合わせてモニタリングを行っています。評価シートも随時活用しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0	児童発達支援管理責任者または担当スタッフが参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	0	子ども発達支援センターや群馬整肢療護園などの関係機関と連携を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	/	医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	0	希望者に対して保育所等訪問支援事業でお子様の通っている園への訪問を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	0	就学支援シートを作成し、お子様の情報を共有しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	0	保護者様の同意のもと、他機関からの検査結果等をいただき、お子様の状態把握に活かし、活動プログラムに取り入れています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	4	ご利用児童全員が週1回の利用で、他の日は保育園等をご利用されているため、そらめめとして他の園との交流は設けていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	0	3	児童発達支援事業部のスタッフは参加していませんが、同法人内から参加している職員がいるため、情報共有を図っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	送迎時に、療育の振り返りを行うとともに、1週間の園や家庭での様子、聞き取りを行い、保護者様のお話を聴かしています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	1	1	昨年度に引き続き保護者様とお子様と一緒にご参加いただく親子教室を開催し、保護者に療育的な関わりを見ただけ機会を設けました。また、保護者様向けの講演会も実施しました。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	1	保護者会は実施していませんが、親子教室等で保護者様の交流の機会を設けています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	0	送迎時に保護者様にお時間をいただき、最近のご様子等をお伺いしています。その中で、相談、申し入れがあった場合は、その場でスタッフがお話を伺ったり、別日にじっくりお話しできるよう面談の時間をとったり、電話で対応させていただいたりしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	会報誌の発行に加え、法人内のブログにて定期的に情報発信をしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	1	3	現在のところ実施しておりません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	利用児様とスタッフで震災・風水害・火災訓練を各年1回ずつ、スタッフのみでの防火訓練を年2回実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	0	ご利用開始前に必ず確認しています。また、送迎時や面談時にも適宜状況の確認を行っています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	1	療育中の食事提供は行っていませんが、利用開始時の聞き取りの際にアレルギーの有無を必ず確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	研修を受けたスタッフが他のスタッフに周知するようにしています。また、療育中はスタッフと利用児様が室内で1対1にならないよう注意を徹底しています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	0	作業療法士の評価後やむを得ず身体拘束を行う場合は、必ず保護者様に説明し、同意を得て、個別支援計画に方法や時間等細かく記載しています。また、毎日の振り返りで身体拘束の有無を確認し、記録しています。どのような状況が身体拘束に当たるのかは職員間で十分に検討・確認していく必要があると考えます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。